

# 平成 30 年度 学校教育自己診断

## [最終報告]

【教職員用】

平成 30 年 9 月 27 日実施

【保護者用】・【児童生徒用】

平成 30 年 9 月 27 日実施

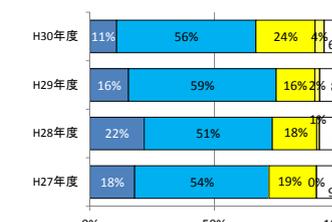
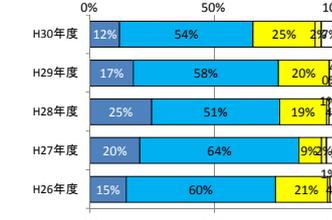
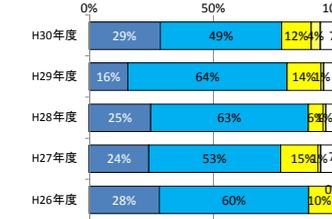
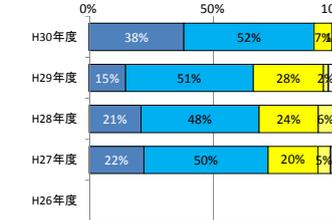
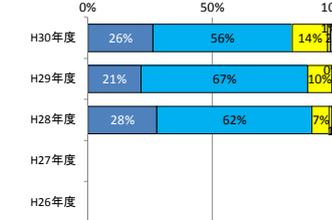
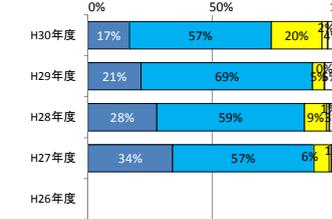
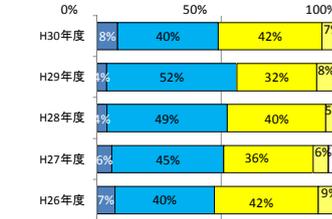
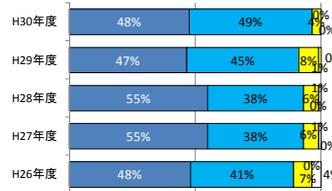
作成日：平成 31 年 1 月 24 日

大阪府立岸和田支援学校

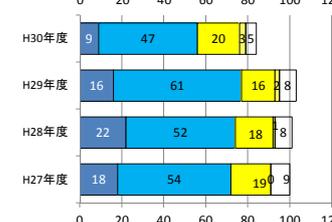
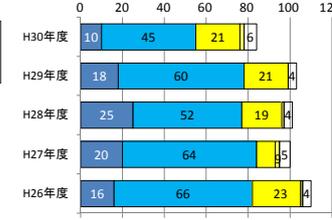
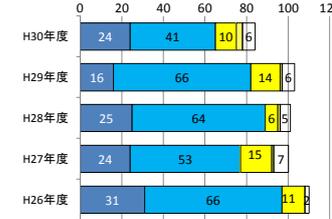
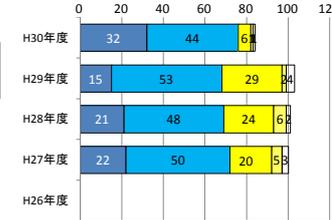
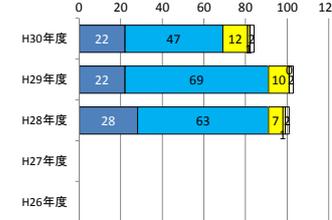
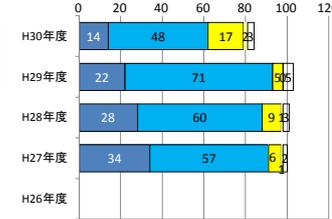
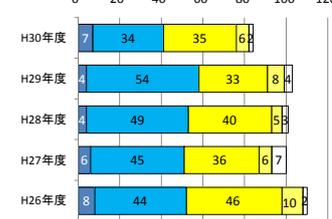
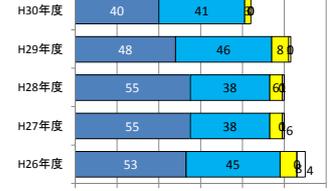
平成30年度	常勤教職員数 = 87	回答数 = 84	回答率 = 97%
平成29年度	常勤教職員数 = 105	回答数 = 103	回答率 = 98%

診断内容
1 本校の教職員は所属以外の児童生徒にも気軽に挨拶をしている。
2 学校は働き方改革をめざして業務を見直し業務の効率化を進め、子どもについて十分な話し合いができる時間を確保できている。
3 学校は授業力向上と授業改善に向けた取組に積極的に取り組んでいる。
4 学校は学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。
5 学校は楽スタやタブレット型PC等の新たな指導システムの導入活用に積極的に取り組んでいる。
6 学校は交流および共同学習について、適切な進め方をしている。
7 個別の教育支援計画をもとに個別の指導計画を作成し、実施後速やかに評価して次の指導に活かしていく、PDCAサイクルが、学校として確立できている。
8 学校は発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができている。

【百分率】



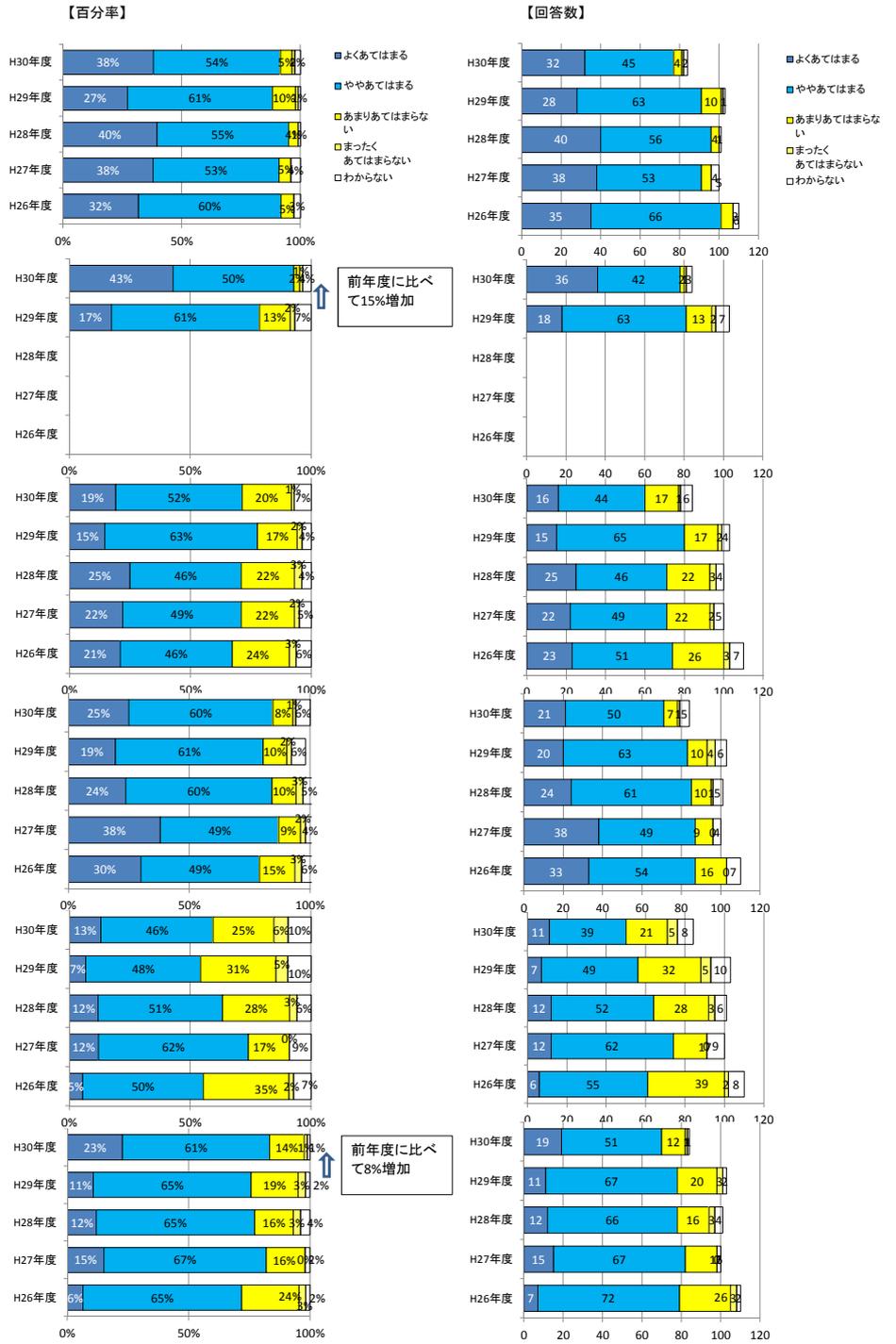
【回答数】



平成30年度 学校教育自己診断 教職員 5年間比較

平成30年度	常勤教職員数 = 87	回答数 = 84	回答率 = 97%
平成29年度	常勤教職員数 = 105	回答数 = 103	回答率 = 98%

診断内容	
9	学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。
10	学校は子どもの体調の急変や怪我、いじめについてもすぐに気がつける体制を整えている。
11	学校として、学部間での丁寧な引き継ぎ等の連携ができています。
12	学校は進路・生活支援や支援教育に関する情報を保護者に十分に提供している。
13	学校は地域を支援できる人材と体制を整えている。
14	学校は肢体不自由支援学校として必要な専門性を持っている。



平成30年度学校教育自己診断 保護者 5年間比較

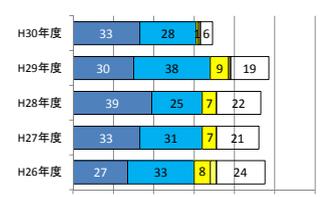
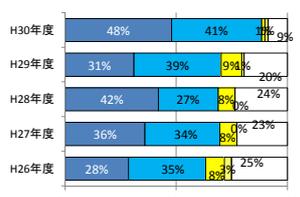
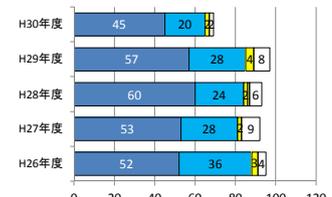
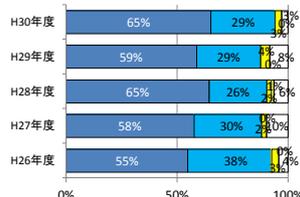
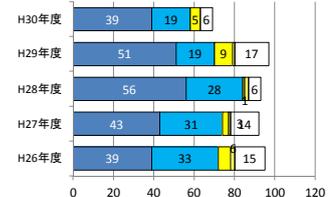
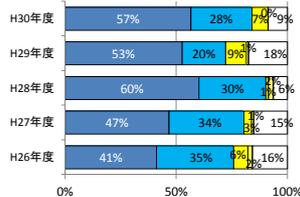
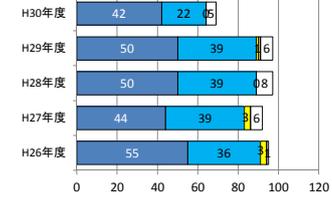
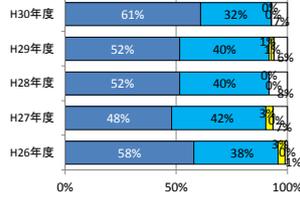
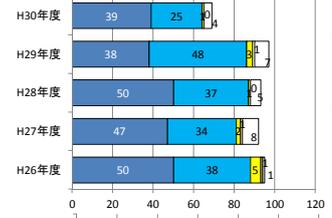
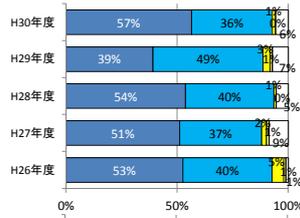
作成日 平成31年1月24日

平成30年度	在籍数 = 104	回答数 = 69	回答率 = 66%
平成29年度	在籍数 = 120	回答数 = 97	回答率 = 81%

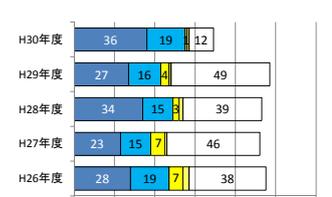
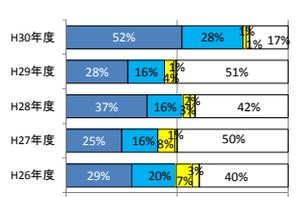
診断内容
1 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。(表情から読み取れる。)
2 自立活動は、子どもの実態に即して適切に実施されている。
3 学校はあいさつの大切さ、思いやりの心、生命を大切にする心、ルールを守る態度を育てる授業に取り組んでいる。
4 学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。
5 発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができています。
6 居住地校交流を希望すれば適切に進められている。
7 通知票は学習の状況(様子)が適切に評価されてわかりやすく書かれている。
8 学校は個別の教育支援計画にもとづいて適切な支援を行っている。
9 肢体不自由児の特別支援学校としての十分な専門性がある。

【百分率】

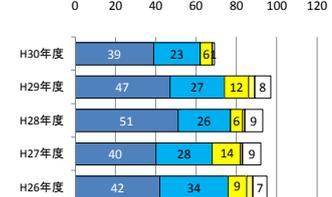
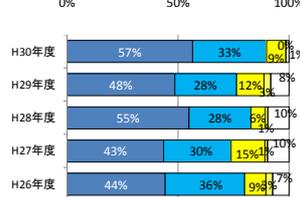
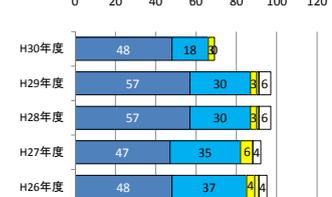
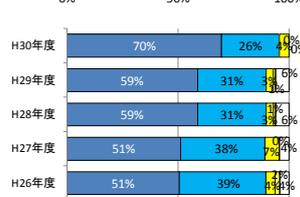
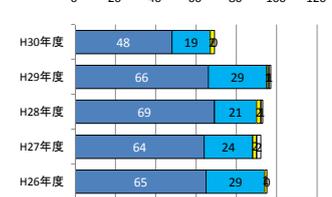
【回答数】



↑ 前年度に比べて19%の増加



↑ 前年度に比べて36%の増加



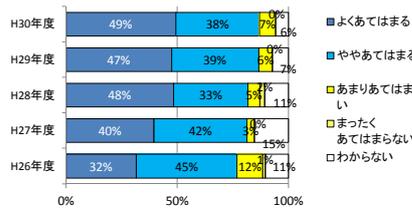
平成30年度学校教育自己診断 保護者 5年間比較

作成日 平成31年1月24日

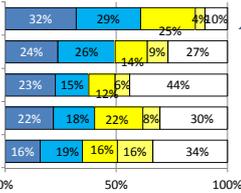
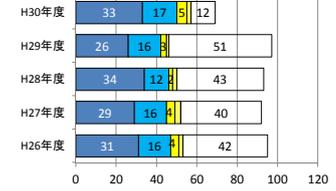
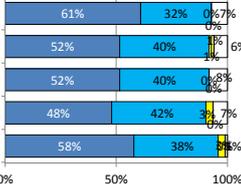
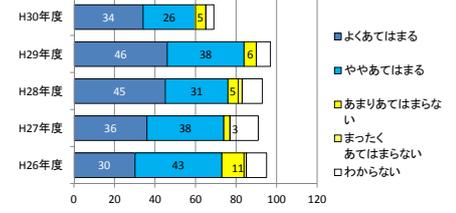
平成30年度 在籍数 = 104	回答数 = 69	回答率 = 66%
平成29年度 在籍数 = 120	回答数 = 97	回答率 = 81%

診断内容
10 学校は進路懇談会や広報誌「やまもも」などで将来の進路や生活支援・支援教育に関する情報を適切に提供している。
11 医療的ケアは、子どもの実態に即して適切に実施されている。
12 学校経営計画・学校運営協議会があるのを知っている。
13 学校は保護者が学校の様子を見に来る機会を十分に設けている。
14 担任、担任以外の先生も気軽に挨拶をしてくれる。
15 子どものことで悩んだときに、担任・学校と適切に相談できる。(いじめがあったときも同じように相談できる。)

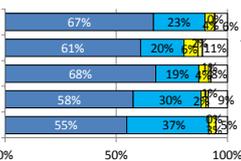
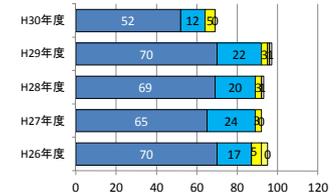
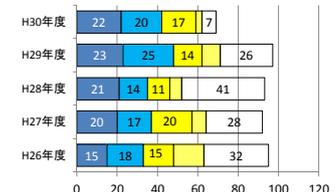
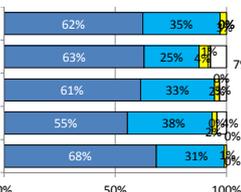
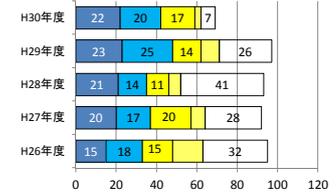
【百分率】



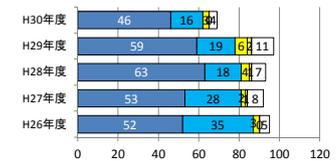
【回答数】



↑  
前年度に比べて  
12%の増加



↑  
前年度に比べて  
10%の増加



保護者アンケート 回答されなかった理由 集約

	アンケート項目	回答をしなかった理由	人数
1	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。(表情から読み取れる。)	子どもがあまり学校のことを話さないのによくわからない	1名
6	居住地校交流を希望すれば適切に進められている。	したことがないのでわからない	3名
10	学校は進路懇談会や広報誌「やまもも」などで将来の進路や生活支援・支援教育に関する情報を適切に提供している。	まだ進路のことをまったく考えていない為	2名
11	医療的ケアは、子どもの実態に即して適切に実施されている。	子どもが医ケアを受けていません	7名
15	子どものことで悩んだときに、担任・学校と適切に相談できる。(いじめがあったときも同じように相談できる。)	話せないのわからない あまり真剣に向き合ってもらっていない	3名 1名
12	学校経営計画・学校運営協議会があるのを知っている。	知りませんでした	1名



児童生徒用

楽しく思うことはなんですか。具体的にお書きください。

小	何かわからないですが、学校に着くとニコニコしているの楽しいのかなと思います。
小	全部（多分）特に活動が楽しそうです。
小	最近バスにのる前にフニャフニャしているので
小	遠足、イベント、体を使った勉強
小	勉強、給食、まったりタイム
小	勉強（特にうたリズム）、運動会、学習発表会
小	家より楽しそうです。
小	お勉強や宿題にも自分から進んでできるようになっている。運動会、学発も楽しんで取り組んでいる様子。
小	友だちと会える。人が沢山いる。
小	歌、音楽
小	先生、お友達が好き（学校も好き）、給食
小	給食おいしくて毎日たのしみにしているようです。勉強いろいろなことをさせてもらえるので楽しいようです。クラスでの生活先生やお友だちと過ごすことが楽しいようです。
小	勉強、学習発表会、友だちとの関わり、先生に会うのが楽しみ
小	勉強
中	バスに乗って遠足や宿泊学習にいける事
中	勉強、体育
中	宿泊学習、運動会、行事に楽しいようです。
中	宿泊学習
中	色々な給食が食べれること。体の授業などがにぎやかで楽しい。発表会なども普段と違い成長を感じる。
中	<input type="radio"/> 宿泊学習
中	表情から（とても楽しいと）読みとれるが発言できないのでわかりません。
高	給食
高	勉強、給食、各行事。お友達や先生とお話したり、遊んだりすること。
高	全てに対して、みんなと一緒にいてる事。
高	バス通学、給食
高	<input type="radio"/> 全部です。
高	ともだちとの勉強や給食
高	運動会・学習発表会・遠足・宿泊学習などの行事
高	<input type="radio"/> 宿泊学習、給食
高	みんなに会えること、給食、宿泊学習
高	行くことが楽しい。例に書いてあるのはとくに楽しい。
高	<input type="radio"/> 友だちや先生といろんなはなしをするのが楽しいです。
高	勉強 給食 運動会 学習発表会 遠足 宿泊学習
高	<input type="radio"/> 宿泊学習や遠足などは友達と一緒に活動することが出来、たくさんの思い出を作ることのできるの自分にとっては良い行事だと思います。
高	<input type="radio"/> 勉強、I p a d
高	体育 給食 バス お友達 先生
高	行事 バス通学
高	給食
高	<input type="radio"/> 勉強 運動会 遠足 宿泊学習
高	<input type="radio"/> 勉強や学習発表会が楽しい
高	<input type="radio"/> お友だち（先生）といっぱいおしゃべりすること
高	行くと楽しいですが、準備は大変ですし、感染などのリスクが気になる
高	何でも お友達や先生とのやりとりなどが大好き

は児童生徒記入

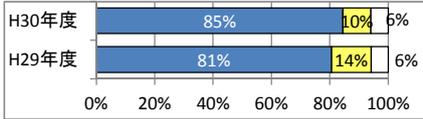
勉強 14、給食 12、友だち 10、宿泊 8、学習発表会 7、遠足・運動会・先生 6、音楽 1

【教職員】【保護者】の質問項目のうち、内容が近い項目について今年度と前年度の変動の程度を示しています。  
(質問項目については、今年度分と前年度分ですべて若干表現が異なっている項目があります。)

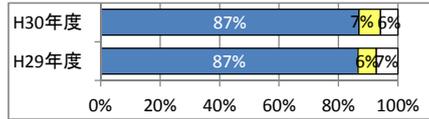
【教職員】

【保護者】

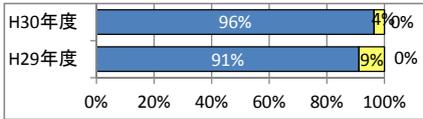
12 学校は進路懇談会や広報誌「やまもも」などで将来の進路や生活支援・支援教育に関する情報を適切に提供している。



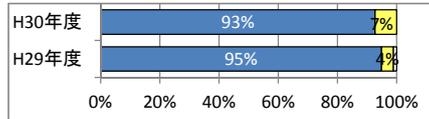
10 学校は進路懇談会や広報誌「やまもも」などで将来の進路や生活支援・支援教育に関する情報を適切に提供している。



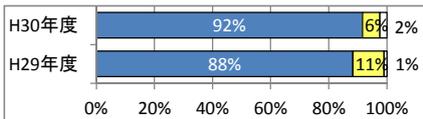
1 本校の教職員は所属以外の児童生徒にも気軽に挨拶をしている。



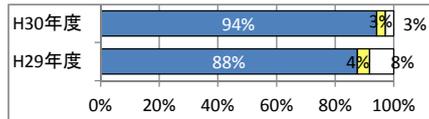
14 担任、担任以外の先生も気軽に挨拶をししてくれる。



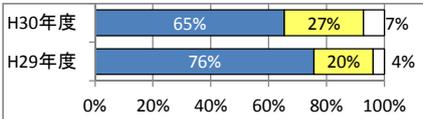
9 学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。



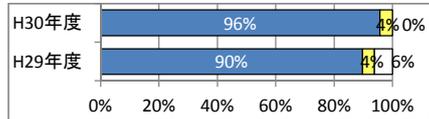
10 学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。



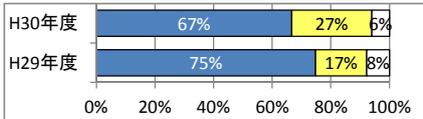
7 個別の教育支援計画をもとに個別の指導計画を作成し、実施後速やかに評価して次の指導に活かしていく、PDCAサイクルが、学校として確立できている。



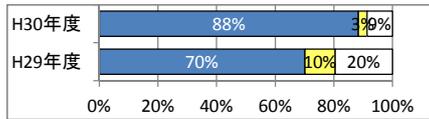
8 学校は個別の教育支援計画にもとづいて適切な支援を行っている。



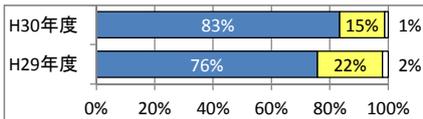
8 学校は発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができています。



5 発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができています。



14 学校は肢体不自由支援学校として必要な専門性を持っている。



9 肢体不自由児の特別支援学校としての十分な専門性がある。

